

○神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（第2次）～健口かながわ推進計画～について

神奈川県では県民の歯や口の健康づくりをすすめるため、「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画」を作っています。計画のうち、主に障がい児者に関する部分に関する議論の部分抜き出しますので、ご意見をお願いします。

＜主に障がい児者に関する部分＞

スライド 34 ページ

障がい児者は定期的な歯のチェックや歯の治療を受けることが難しいです。

障がい児者が利用する施設での定期的な歯のチェックを行う割合は十分でないことが

課題です。

障がい児者の歯や口のチェックをうけられるように、さまざまな人たちと協力して

支援を行います。

（４）障がい児者及び要介護者の歯と口腔の健康づくりの推進

令和5年度第2回歯科保健医療推進協議会

資料2-

令和6年2月14日（水）

1

改

- 障がい児者や要介護者は、定期的な歯科検診または歯科医療を受けることが難しい状況にあります。
- 歯と口腔の健康づくりを推進することにより、生活の質の向上と自立を支えます。

【課題】

- 施設における定期的な歯科検診について、実施率に変わりはありませんが、利用者の希望状況に合わせた対応をする施設が多い状況です。
- 障がい児者や要介護者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域包括ケアシステムのもと切れ目のない口腔管理支援体制の整備を進める必要があります。

【主な施策の方向】

- 障がい児者及び要介護者の歯科疾患対策、口腔ケア、口腔機能の発達・維持・向上のため、口腔管理や歯科検診を受ける機会の提供について、各機関・関係機関と連携した支援を行います。
- 大学病院等は一般の歯科医療機関では対応が困難な患者に対し、高次歯科医療機関として、高度で専門的な歯科医療を提供します。

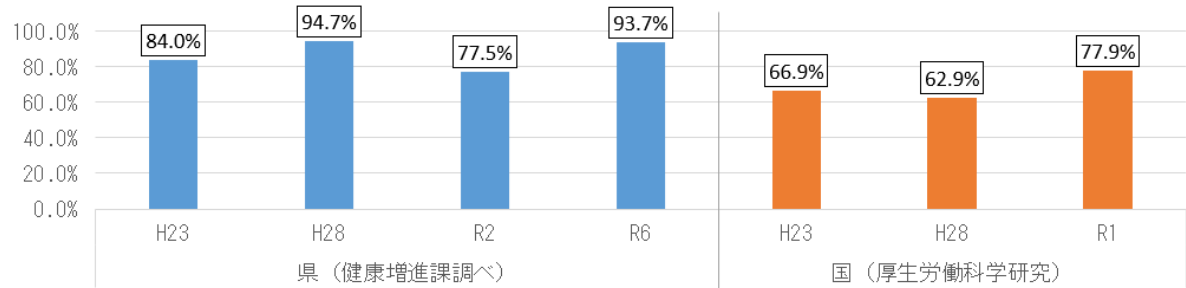
指標	現状値	目標値（R14）
⑮障がい児者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施率	77.5%（R2）	100%
⑯要介護者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施率	89.4%（R2）	100%

しょう じしゃ りよう しせつ ていきでき は おこな わりあい
障がい児者が利用する施設での定期的な歯のチェックを行 割合は、
れいわ ねん
令和2年では77.5%であったところ、令和6年には93.7%に増えていました。

⑮障がい児者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施率

目標：障がい児者及び要介護者の歯と口腔の健康づくりの推進

指標	⑮障がい児者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施率
データソース	健康増進課調べ
計画策定時	77.5%（令和2年度）
ベースライン値	93.7%（令和6年度）
目標値	100%



いつもの生活をするために常に呼吸をするための機械の管理やたんを吸うなどの医療的
ケアを受けることが必要な子どもの歯の治療のできるようにするため、令和7年度から歯科
医師向けの研修を始めました。

医療的ケア児歯科人材養成事業（令和7年度新規事業）

○ 目的

在宅の医療的ケア児者への歯科診療に対応できる歯科人材（歯科医師、歯科衛生士等）の養成研修等を実施することにより、医療的ケア児者の歯科受診の機会を確保し、口腔機能の維持及び生活の質の向上を図る。

○ 内容

- ・医療的ケア児者歯科人材養成研修

座学、実習、実地研修から成るカリキュラムで構成される研修（修了者：27名）

- ・神奈川県小児在宅歯科医療フォーラム

医療的ケア児者を含めた在宅療養児への取組や現状を理解し、今後の課題解決に向けたフォーラムの開催（参加者：87名）

スライド 38 ページ （まとめ）

障がい児者が利用する施設での定期的な歯のチェックを行う割合は増えています。

これからも、障がい児者の方が定期的に歯のチェックを受けられるように、さまざまな

人々と協力していきます。

まとめ（指標⑮～⑯について）
（４）障がい児者及び要介護者の歯と口腔の健康づくりの推進

- 障がい児者が利用する施設や要介護者が利用する施設における、過去一年間の歯科検診実施率は増加傾向です。
- 医療的ケア児者の歯科受診の機会を確保し、口腔機能の維持及び生活の質の向上を図るため、在宅の医療的ケア児者への歯科診療に対応できる歯科人材（歯科医師、歯科衛生士等）の養成研修等を令和7年度に新たに実施



- 引き続き、障がい児者及び要介護者の歯科疾患対策、口腔ケア、口腔機能の発達・維持・向上のため、口腔管理や歯科検診を受ける機会の提供について、各機関・関係機関と連携した支援してまいります。